

都市再生整備計画 フォローアップ報告書  
入西地区

平成28年3月

埼玉県坂戸市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	入西地域交流センター利用者数	人/年	23,765	36,000	42,000	確定 見込み ●	○	あり なし	49,451	H27年4月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	旧施設利用者や地域住民の意見を聞いて整備を行った結果、旧施設の公民館と比較しても利用者等は期待以上に上回っていることから、十分な成果は出ていると考える。
指標2	入西赤沼線利用台数	台/日	0	5,800	3,090	確定 ● 見込み	×	あり なし ●		H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	市民への周知は行ったが、まだ周辺住民の認知度が低く、予想していた交通量は実現しなかった。なお、隣接する鳩山町へ大型商業施設や物流センターが建設され、今後の交通量が見込めると思われる。
指標3	健康だと思っている市民の割合	%	84	90	82.4	確定 ● 見込み	×	あり なし ●		H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	目標値は、5年ごとに実施している「市民アンケート」の実績より設定したが、「アンケート」の対象者は市内全域であったため、効果発現にいたらなかった。なお、計画区域内では、一定の効果は出ていると考える。
指標4						確定 見込み		あり なし		H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標5						確定 見込み		あり なし		H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	自動車の移動時間の短縮	分	19	/	16	確定 ● 見込み	/	/	/	H 年月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	関越自動車道坂戸西スマートICより鳩山町役場までの交通アクセスは、短縮された。
その他の数値指標2	健康増進施設利用者数	人/年	86,538	/	100,222	確定 ● 見込み	/	/	/	H 年月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	旧施設の勤労者総合スポーツ施設と比較しても利用者等は上回った。
その他の数値指標3			/	/	/	確定 ● 見込み	/	/	/	H 年月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

## 2. 今後のまちづくり方策の検証

### 様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	市民コミュニティの活性化	・入西地域交流センターを活用し、バンドフェスティバル、カラオケ大会等の新たな事業を開催	・地域住民の交流を図るための事業を実施し、地域の絆・連帯感を育むことができた。	・市民コミュニティの更なる活性化
	既存施設の再利用による健康増進	・健康増進施設を活用し、健康増進を目的としたストイレッチ教室の様々な事業を開催	・市民の健康づくりの拠点施設である健康増進施設を有効活用し、様々な健康増進施策を推進した結果、市民の健康づくりの支援と健康増進を図ることができた。	・今後も様々な施策を展開し市民の健康意識の向上を図り、「日本一健康なまち」を目指す。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	本市及び当該地区の認知度及び施設利用度の向上の目指し、シティプロモーションの展開を行う。	・観光ガイドマップ及び市のあんないマップの改訂 ・ポータルサイトの開設 ・にっさい桜まつりの開催	本市のまちの取組や魅力を、市外に向けて積極的・効果的に情報を発信し、本市の知名度や施策の認知度を高めることができた。	・シティプロモーションの更なる推進
	計画区域内における交通事故の減少	・道路反射鏡の設置及び修繕 ・道路区画線の整備	交通安全施設の整備及び通学路等の交通安全対策を実施し歩行者等の安全の確保を図ることができた。	

事後評価シート 添付様式5-③から転記

### 様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項

# 都市再生整備計画(清算報告)

につさいちく  
入西地区

さいたまけん さかどし  
埼玉県 坂戸市

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	埼玉県	市町村名	さかどし 坂戸市	地区名	にっさいちく 入西地区	面積	243.1 ha
計画期間	平成 21 年度 ~ 平成 25 年度	交付期間	平成 21 年度 ~ 平成 25 年度				

<b>目標</b>							
大目標 人々が集い交流する健康で活気のあるまちづくり							
目標1 市民の交流の拠点となる施設を整備するなど、コミュニティの活性化を図る。							
目標2 都市計画道路の整備により交通アクセスの向上を図る。							
目標3 健康増進拠点の拠点となる施設を整備するなど、市民の健康増進を図る。							

<b>目標設定の根拠</b>							
まちづくりの経緯及び現況							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・当地区内には、平成元年から都市再生機構(都市基盤整備公団)による区画整備事業が施行され、平成20年9月1日現在、1,359世帯、4,165人が住む大規模な住宅地が形成されている。既に、新住民の割合は入西地区人口の4割を超えており、今後も更に人口が増加する見込みである。</li> <li>・地域住民の交流の拠点となる現施設は、昭和45年度に建設されたため、既に老朽化しており、また、人口が増加した現在においては、かなり狭隘化している。</li> <li>・平成19年3月に、入西地区より住民総意として地域交流センターの早期建設の陳情が提出された。</li> <li>・地域住民の交流の拠点となる現施設は、地域防災拠点として位置付けられており、市民の安全を守る重要な施設である。</li> <li>・安全で安心なまちづくりへの関心が高まってきており、当地区でも市民の防犯(17団体)や防災(5団体)に関して活動団体の協力を得ている。</li> <li>・余暇時間の拡大、核家族化、情報化、高齢社会といった社会状況を背景に、個人志向の高まりや価値観、生活様式等の多様化傾向により、地域の連帯意識・ふるさと意識の希薄化の傾向がある。</li> <li>・当地区には大規模な宅地造成による新しい街が含まれており、若い子育て世代も多数暮らしている。</li> <li>・本市においては、健康づくり政策を重要施策のひとつとして、また、地域コミュニティの活性化を図るための手段としても推進している。</li> <li>・食と運動、健診を有機的に連動させることで、市民の健康づくりを一体的にサポートし、「日本一の健康づくりのまち」を目指す。その推進体制として健康増進部を新設する。</li> <li>・最近の健康志向の高まりから、既存の体育館等の利用が急増している。</li> <li>・鳩山町の今宿、赤沼地区と当該地区は、地縁・血縁で結ばれており、行政界を越えた地権者も多く、行政界を越えた交流がある。</li> <li>・本市は、「よさこいと花のまち」とし、花によるまちづくりを推進することにより、地域コミュニティの活性化を図っている。</li> <li>・当該地区には、商業が集積し、また、こはるが池やその周辺には桜並木があり、市内外からの来訪者も多い。</li> </ul>							
<b>課題</b>							
<p>新旧住民が混在しており、今後のまちづくりにおいてコミュニティの活性化が不可欠であり、活性化のための環境整備が重要な課題である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民の交流の拠点となる現施設は、昭和45年度に建設されたため、既に老朽化しており、また、人口が増加した現在においては、かなり狭隘化している。このため、コミュニティの活性化を図るうえで支障となっている。</li> <li>・同様な状況から、現状では元からの住民と新たに流入した住民とのコミュニティの醸成が図られているとは言いがたく、新たな市民交流(防犯・防災組織の活動、地域子育て活動等)の核となるハード及びソフト事業が望まれている。</li> <li>・地域住民の交流の拠点となる現施設は、地域防災拠点と位置付けており、地域防災拠点としての耐震性や狭隘化の解消が求められている。</li> <li>・健康志向の高まりから既存の体育館等の利用が飽和状態となっており、健康増進施設への期待が高まっている。</li> <li>・鳩山町の今宿、赤沼地区と当該地区は、地縁・血縁で結ばれており、行政界を越えた地権者も多いが、車社会となった今日では、道路網の整備が遅れており、交通利便性の向上が求められている。</li> <li>・関越自動車道の入西地域にスマートインターを設置する方向で関係機関と協議を進めているが、そのアクセス道路としても入西赤沼線(橋梁含む)の整備が重要となる。</li> </ul>							
<b>将来ビジョン(中長期)</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・第5次坂戸市総合振興計画において、将来都市像を「市民がつくり育むまち、さかど」とし、市民が主役となる協働のまちづくりを目指している。この実現のため、市民のコミュニティづくりを積極的に支援することとし、地域のコミュニティ活動拠点施設としての入西地域交流センターの建設を位置付けている。また、健康なまちづくりの中で、健康づくりの中心となる拠点施設の整備を位置付けている。</li> <li>・坂戸市都市計画マスタープラン・地区別構想の中で、当該地区は「あふれる自然と豊かな環境に育まれた互いに理解しあえるやさしいまち」と位置付け、福祉活動、ボランティア活動を支える仕組み・組織づくりを進め、いきいきとらせるまちづくりを目指している。</li> </ul>							

<b>目標を定量化する指標</b>							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
入西地域交流センター利用者数	人/年	入西地域交流センターの年間利用人数	既存施設の更新・整備することにより、利用者の増加を図り、コミュニティの醸成に繋げる。	23,765	H19	36,000	H25
入西赤沼線利用台数	台/日	入西赤沼線の1日あたりの通過車両台数	新設道路を整備することにより、行政界を越えた広域的な交流を促進させる。	0	H20	5,800	H25
健康だと思っている市民の割合	%	自分が健康だと思っている市民の割合	各種事業を実施することにより市民の健康増進を図り、健康なまちづくりに繋げる。(入西地区)	84	H20	90	H25

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備方針1: (新旧住民等の交流拠点の整備)</li> <li>・新旧住民の交流機会を創出するため、会議室や多目的ホールの他、つどいの広場を備えた、新旧住民のあらゆる交流の拠点となる地域交流センターの整備を行う。また、新旧住民及び市外の人々との交流の場となる憩いの場を整備する。あわせて、健康増進事業や自主防災事業、地域交流イベントを実施することにより、新旧住民等の交流機会を提供し、もって、コミュニティの活性化を図る。</li> </ul>	入西地域交流センター整備事業
<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備方針2: (交通環境の改善)</li> <li>・交通環境の改善策として、都市計画道路を整備し、市外からの交通の円滑化を図り、地域内外での交流の促進を図る。</li> </ul>	入西赤沼線整備事業 地域交流イベント開催事業
<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備方針3: (市民の健康増進)</li> <li>・健康増進の拠点となる施設を整備するなど、市民の健康を増進させ、健康なまちづくりを図る。</li> </ul>	健康増進施設整備事業 入西地域交流センター整備事業
その他	

